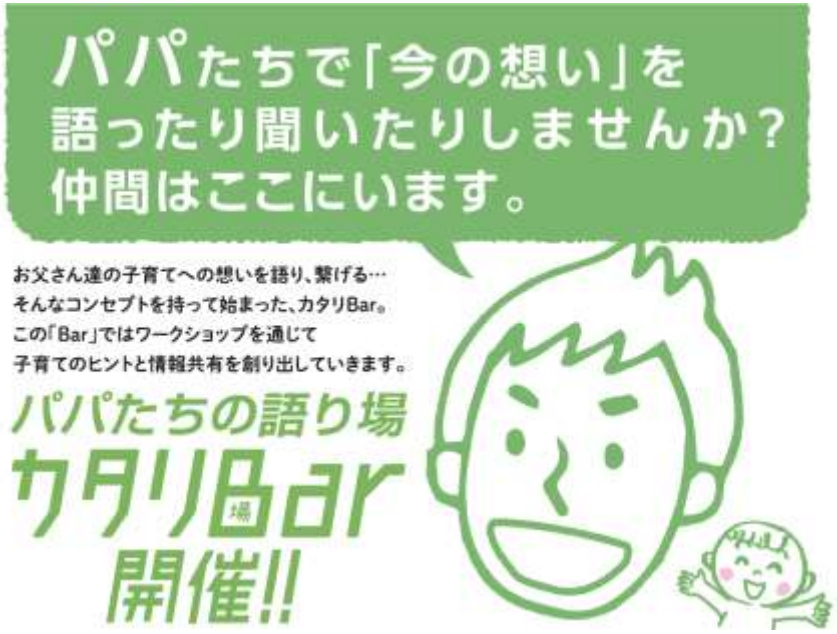
子育て支援プロジェクト カタリBar

活動報告と活動プロセス



平成30年2月9日

カタリBar

赤澤　徳俊

メンバー紹介

大森　不二夫

63歳　盛岡市出身　　ライター(元民生・児童委員)

野中　晋

65歳　盛岡市出身　　民生・児童委員

髙田　宗子

50代　二戸市出身　　民生・児童委員

赤澤　徳俊

43歳　盛岡市出身　　キャリアコンサルタント

メンバーの共通点

①盛岡市主催「地域福祉中核人材養成講座」受講生

②子育て経験者

なぜこの活動を始めようと思ったか？

　講座でのヒアリングで「子育てを手伝いたいが**孤独**を感じる」と話す父親がいました。

　「働き方改革」や「イクメン」という子育てに参画する父親を奨励する流れの中でこの言葉は印象的でした。

　同じようにこの言葉に反応したメンバーと、**父親は子育てについて話す場が無いのではないか？　本当のところ父親はどう思って子育てに向き合っているか？**　など実際に父親たちから聞いてみる必要があるのでは？と思い、平成28年11月子育て応援プロジェクトの一環でワークショップを開催。

盛岡タイムス Web News 2016年　11月　20日（日）

■ 父親同士 語り合おう 子育て応援プロジェクト 地域社会に機運醸成促す
盛岡市 福祉中核人材講座開く

父親同士で子育ての課題や悩みを語り合った子育て応援プロ

　盛岡市は地域社会全体で子育てをする気運を醸成するため、市民が考える子育て応援プロジェクトを19日、同市若園町の市総合福祉センターで初開催した。地域福祉の担い手を育成し、広くまちづくりの視点から実践的なスキルを身に付ける地域福祉中核人材講座（同市主催）の受講者がイベントを企画運営。子育てカフェや冬物子ども用品市、父親同士が子育ての悩みや課題などを語り合う機会を設けるなど、さまざまな視点から子育てしやすい環境を考えた。

設　立　目　的

(公財)いきいき岩手支援財団の助成金を活用して活動

当初

　子育て参画への場づくりを創出すことで、だれもが子育てをシェアできる地域社会を目指す。

　父親が子育てを率直に語り合う場をつくり、不安解消と情報の共有をする場にする。

回を重ねて

　子育ての課題を洗い出し、解決策の提案まで持っていく。

岩手日報 H29.10.9

（23） 地域

子育てトーク 父目線

有志企画 意見や悩みを共有

盛岡

父親たちが本音で子育てを語る「子育て支援プロジェクト「カタリBar（バー）」は7日、盛岡市大通のもりおか子育て応援プラザで開かれた。20～40代の父親7人が意見や悩みを共有し、よりよい子育てのためにできることを考えた。

7人は父親になって感じたことを発表し「お金のことが心配」「自分の時間が取れない」「娘に嫌われるのが怖い」など率直な意見が挙がり、共感し合う場面も見られた。

1歳2カ月の長女を育てる会社員中河原康大さん（26）＝同市みたけ＝は「参加者は年齢層も仕事もばらばら。自分と違う考え方を知ることができ、新鮮だった」と視野を広げていた。

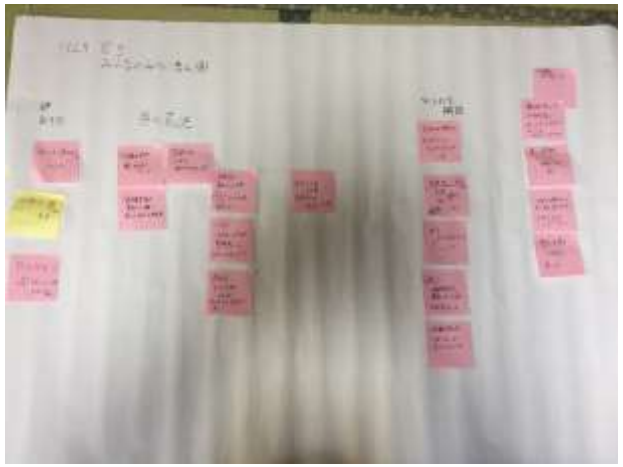
プロジェクトは市主催の地域福祉中核人材育成講座の参加者有志らが立ち上げ、8月から市内の保育園などで開いてきた。いきいき岩手支援財団の助成事業。代表の赤沢徳俊さん（43）は「父親が本音で子育てを語れる場が必要だと感じていた。子育ての課題を洗い出し、解決策の提案まで持っていきたい」と意欲を見せる。

次回は11月18日午後1時半から同市大通のリリオで開く。夫婦のチームワークや父親としてのあり方について意見交換し、提案をまとめる。参加無料。問い合わせは赤沢さん（info@akazawawago.com）へ

子育てに関する意見を発表し合う参加者ら

第1回カタリBar

日時：平成29年8月5日　16:00～17:00
場所：みんなのみらい青山園
参加人数：9名



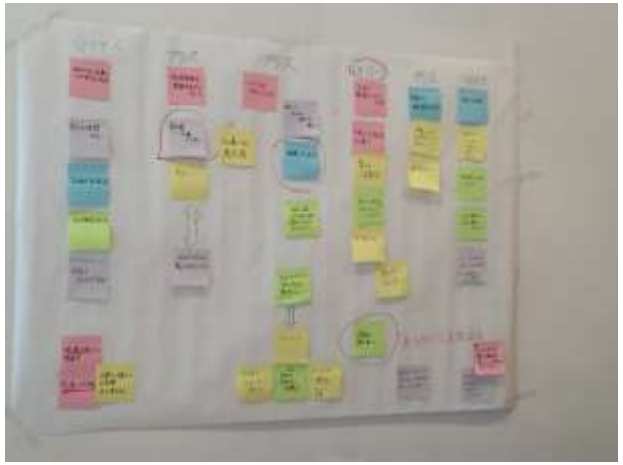
アンケート結果

Q企画・ワークへの感想、意見
・初めて参加したが色々想いや経験が聞けて面白かった。
・話しやすい雰囲気だった。
・今後に期待したい。
・テーマで話すか、自由に話すか絞ってほしかった。

Qほかの方の意見を聞いての感想
・もっと違うテーマで聞いてみたい。
・面白かった。
・初めて聞くことがあって勉強になった。

第2回カタリBar

日時：平成29年8月19日　13:00～14:00
場所：愛育ホーム
参加人数：7名



アンケート結果

Q企画・ワークへの感想、意見
・心の中で思っていることはみんな同じなことが分かった。
・時間があっという間だった。

Qほかの方の意見を聞いての感想
・自分以外にも同じ思いをしている方がいるんだと思い勉強になりました。
・男目線の共感があって面白かった。
・「ありがとう」となかなか言えないが、心ではすごいと思っているという言葉が印象的でした。

第3回カタリBar

日時：平成29年10月7日　13:30～15:00
場所：ma*mall(マ・モール)
参加人数：7名

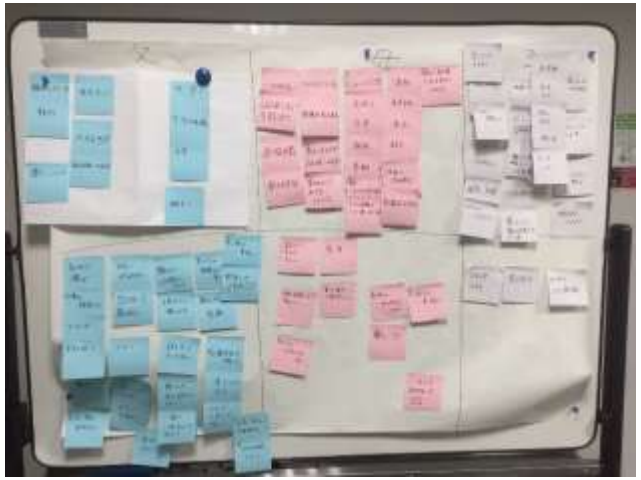
アンケート結果

Q企画・ワークへの感想、意見
・「お父さん」限定というところに新しさを感じました。
・和やかな雰囲気で進行されていて、自由な意見交換が出来てよかったです。
・いろんな考えがあって自分の家族のことにも上手くいい影響を与えていければいいなと思います。

Qほかの方の意見を聞いての感想
・自分にはない考え方、共感できることがありました。
・自分にはない考えがあってそれを受けとめつつ、いい話には家族にも話してみたいと思います。

第4回カタリBar　第1部

日時：平成29年11月18日　13:30～15:00
場所：大通り会館リリオ
参加人数：8名



アンケート結果

Q企画・ワークへの感想、意見
・いろんな人と話せて面白い企画だと思いました。
・日頃の不満を吐き出すことができ、他の方の話を聞いて自分を客観的に見れた。
・「話す」のが目的か「回答を出す」のが目的か、はっきりした方がいいのかもしれません。

Qほかの方の意見を聞いての感想
・皆さん同じように悩み育児に取り組んでおられるということ。
・やらなければならないと思い込んでいることをやらないでみる。

第4回カタリBar　第２部　**カクテルづくり交流会**

日時：平成29年11月18日　15:30～17:00

場所：ジュイククク(Juikuku)

参加人数：5名

カタリBar　セカンドシーズン

テーマ「ファミリー」

～父親・母親で子育てを本音で語り考えよう～

目的

・話すことで行動や思考を整理でき、また聞くことで共感から安心感を得る

・子育てにしっかり向き合う機会を作る

活動内容

・父親と母親が別々に子育てについてワークショップを行う

・父親母親合同で子育ての問題解決へのアプローチを考える

・ラジオ番組で参加者と一緒に内容を語る

＊いきいき岩手支援財団に助成金申請中

ご清聴ありがとうございました